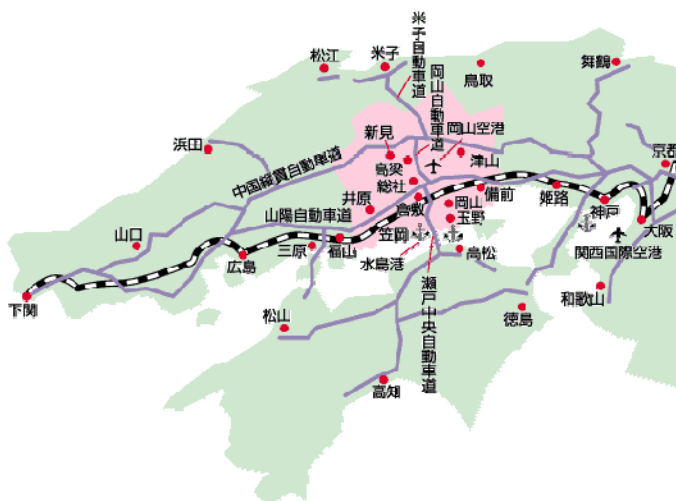


# 第1章 岡山県の概要

## 1 県の位置

山陽道の中央に位置し、東は兵庫県、西は広島県に隣接。南は昔より水運に恵まれた瀬戸内海に臨んで四国に、北は山陰地方と接しています。総面積は7,114 km<sup>2</sup>で、東西約106km、南北約102kmのほぼ正方形をなしています。

今日では、県内に縦横に延びる高速道路網、瀬戸大橋、国内外へ飛び立つ岡山空港、新幹線をはじめとした東西南北につながる鉄道など、全国まれに見る交通基盤が充実し、中四国のクロスポイントとして着実に発展を続けています。



## 2 県の概況

[総面積]	7,114 km <sup>2</sup> 国土面積の1.9% 47都道府県中第17位
[地形]	県北部は、中国山地と盆地、中部は吉備高原などの丘陵地、南部は平野に大きく分けられます。県北部は山と温泉に恵まれ、南部はおだやかな海と多島美に恵まれ美しく彩られた瀬戸内が広がります。
[水]	中国山地に源を発する3つの河川（吉井川、旭川、高梁川）は、良質で豊かな水を常にたたえ、農耕地をうるおし、生活用水はもとより、都市用水、工業用水として利用されています。
[気候]	降水量1ミリ未満の日：277日（H3～R2の平年値）で全国第1位

人口	約188万人	全国第20位、全国人口：約12,614万人 ※岡山市と倉敷市に約120万人（県全体の約63%）が居住。																
一般世帯数	約79万世帯	全国第18位、全国世帯：約5,570万世帯																
人口密度	約265人/km <sup>2</sup>	全国第24位、全国平均：約338人/km <sup>2</sup>																
高齢化率	30.3%	全国第28位、全国平均：28.6%																
就業者の産業別人口構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>岡山県</th> <th>第1次</th> <th>第2次</th> <th>第3次</th> <th>全国</th> <th>第1次</th> <th>第2次</th> <th>第3次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4.1%</td> <td>26.2%</td> <td>66.6%</td> <td></td> <td>3.2%</td> <td>23.4%</td> <td>73.4%</td> </tr> </tbody> </table>		岡山県	第1次	第2次	第3次	全国	第1次	第2次	第3次		4.1%	26.2%	66.6%		3.2%	23.4%	73.4%
岡山県	第1次	第2次	第3次	全国	第1次	第2次	第3次											
	4.1%	26.2%	66.6%		3.2%	23.4%	73.4%											

【根拠】人口、一般世帯数、高齢化率、人口密度：総務省統計局「R2年国勢調査」より  
就業者の産業別人口構成：岡山県統計年報（令和5年版）、R2年国勢調査より



©岡山県「ももっち・うらっち」  
千支 巳 パーゾン

### 《岡山ひとことアピール（まち編）》

お 温暖気候で住みやすく  
か かなり便利な“交通の要衝”  
や 山あり川あり海もあり  
ま まちは生き活き“晴れの国”

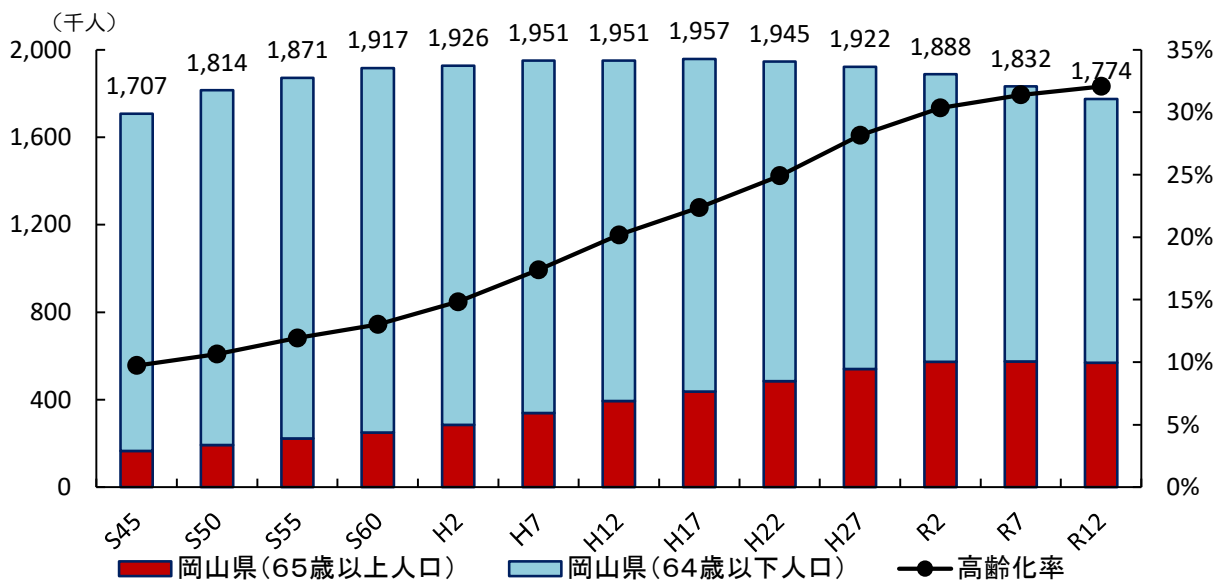
### 3 人口・経済等の指標

#### ■ 都市計画の役割

本県の人口は、増加傾向にありましたが、近年は横ばい状況から減少傾向に転じています。一方、人口に占める高齢者の割合は今後も増えていくことが予想されています。

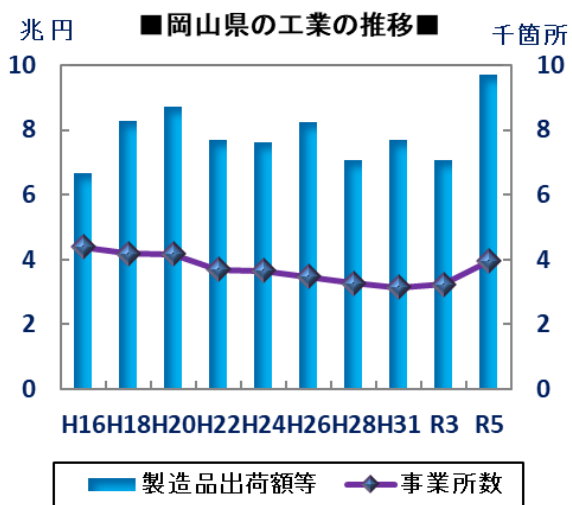
また、産業・経済活動の低迷や都市拠点、地域活力の低下など構造的な問題が懸念され、その対応が急務となっている状況にあります。

こうしたなか、少子・高齢社会の進展、都市化の終息、社会資本の投資余力の減少など今日の社会情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応することを配慮して、社会経済基盤の形成を促進し、県民生活の向上や経済活動の新たな展開を考慮した都市政策に取り組む必要があります。

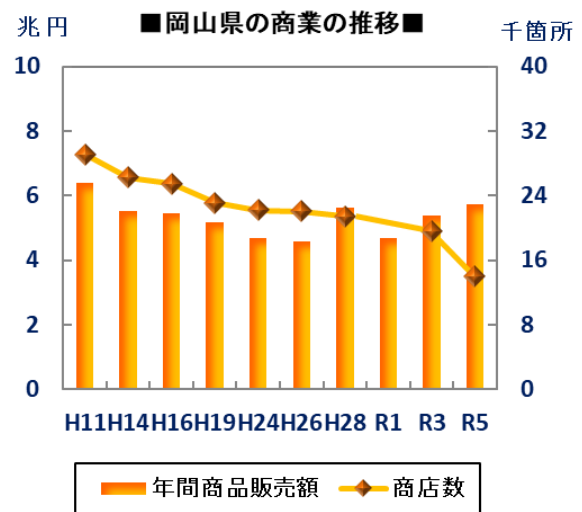


※S40～R2：R2 国勢調査より

※R2～R12：国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口（R5 推計）より



資料：岡山県工業統計調査  
経済構造実態調査  
経済センサスより



資料：岡山県商業統計調査  
経済構造実態調査  
経済センサスより